

⑧ 編入学試験科目

- 〔Ⅰ〕学長面接
- 〔Ⅱ〕学科別試験科目

音楽文化学科

音楽文化専修

次の(1)と(2)を受験。

(1)以下のA～Cより1つを選択。

A. 創作プログラム(作曲)

作品提出

自作品の譜面コピー、あるいはコンピュータ・ミュージック(DTM、GarageBand等)の作品を録音したデータ(CD-R、USBメモリ、SDメモリーカードなど)を出願書類と共に提出してください。

※提出作品等は返却しません。

B. 創作プログラム(デジタル鍵盤楽器)

自由曲1曲(10分以内)を繰り返しなしで演奏してください。自作曲可、ジャンルは問いません。

C. 研究・総合プログラム

小論文

音楽文化に関する課題を試験場で提示します(字数：1,000字程度、試験時間：60分)。

(2)専修教員による面接

幼児音楽教育専修

次の(1)と(2)を受験。

(1)記述：幼児音楽教育に関するテーマについて記述してください。テーマは当日発表します。

(字数：400字程度、試験時間：45分)

(2)口頭試問：記述の内容に基づき質疑応答を行います。

演奏学科

声楽専攻

自由曲：任意の1曲を暗譜、すべて原語によるものとし、オペラ・アリアは原調で演奏。伴奏者は本学で準備します。伴奏楽譜の左上に氏名を記入し、出願書類と共に提出してください。

鍵盤楽器専攻(ピアノ、パイプオルガン、チェンバロ)

次の(1)と(2)を暗譜、繰り返しなしで演奏。

(1)練習曲：任意の1曲

(2)自由曲：任意の1曲

※ピアノを専攻する受験生を除き、自由曲をパイプオルガンまたはチェンバロで受験することも可能です。この場合は楽譜使用可。ただし、オルガン曲はペダル付の曲とします。

管弦打楽器専攻(管弦打楽器、古楽器、民族伝統楽器)

自由曲：任意の1曲を、繰り返しなしで演奏。楽譜の使用は任意。

※コントラバス、マリンバまたはハープで受験する場合、本学の楽器を使用することができます。希望者は事前に学事部入試係に連絡してください。

●出身(短期)大学における単位履修状況により試験科目が変更になる場合があります。

事前に学事部入試係にお問い合わせください。

●試験で使用するデジタル鍵盤楽器、パイプオルガン、チェンバロ、打楽器の練習を希望する場合は、事前に学事部入試係に連絡してください。パイプオルガンの練習は、パイプオルガン試験日の2日前からとし、原則として1日2時間とします。

⑨ 編入学特待奨学金入学試験科目

優れた専門能力を有しており、積極的に音楽への学びを深める編入学志願者に対する奨学金付きの入学試験です。入学試験に合格し本学が定める成績基準を満たした場合、1年間の授業料と施設維持費が1/4免除となります。本奨学金は、原則学部在学期間の2年間継続します。

〔Ⅰ〕学長面接

〔Ⅱ〕学科別試験科目

音楽文化学科

音楽文化専修

次の(1)と(2)を受験。

(1)以下のA～Cより1つを選択。

A. 創作プログラム（作曲）

作品提出

自作品の譜面コピー、あるいはコンピュータ・ミュージック(DTM、GarageBand等)の作品を録音したデータ(CD-R、USBメモリ、SDメモリーカードなど)を出願書類と共に提出してください。

※提出作品等は返却しません。

B. 創作プログラム（デジタル鍵盤楽器）

以下のア、イをそれぞれ1曲以上含んだプログラム演奏（15分程度）。

ア：自由曲

イ：自編曲あるいは自作曲（ジャンルは問わない）

C. 研究・総合プログラム

小論文

音楽文化に関する課題を試験場で提示します（字数：1,200字程度、試験時間：60分）。

(2)専修教員による面接

幼児音楽教育専修

次の(1)と(2)を受験。

選考においては、入学前に取得した授業科目の成績等も重視します。

(1)記述：幼児音楽教育に関するテーマについて記述してください。テーマは当日発表します。

（字数：400字程度、試験時間：45分）

(2)口頭試問：記述の内容に基づき質疑応答を行います。

演奏学科

特待奨学金チャレンジ課題を演奏。

志望する専攻の課題を確認すること。

声楽専攻 29頁

鍵盤楽器専攻 31頁

管弦打楽器専攻 36～40頁

●出身(短期)大学における単位履修状況により試験科目が変更になる場合があります。

事前に学事部入試係にお問い合わせください。

●試験で使用するデジタル鍵盤楽器、パイプオルガン、チェンバロ、打楽器の練習を希望する場合は、事前に学事部入試係に連絡してください。パイプオルガンの練習は、パイプオルガン試験日の2日前からとし、原則として1日2時間とします。